

修了生の活躍事例

四国能開大で学んだことが将来の幅を広げてくれました！

四国能開大への進学のかっけは、高校の進路指導の先生の勧めでした。実験や実習時間が多く、将来の仕事と直結した専門知識や技術を多く学べる学校だと知り、幼い頃からものづくりに興味があった私には魅力的でした。電気エネルギー制御科と応用課程である生産電気システム技術科で、自然エネルギー利用技術や工場自動化技術、また発電変電工学を学びました。正直、どの科目も当初得意ではなかったのですが、少人数訓練と担当指導員の分かりやすい指導のおかげで修了時には、苦手も得意へと変化し、今では学んだ内容を仕事で活かせるまでになりました。

開発課題のテーマ「軸テープカットマシンの開発」

学生時代は「軸テープカットマシンの開発」を行いました。依頼元の企業では、軸テープを手作業で計測、カットを行っていて、大変な労力と時間を費やしていました。そこで本課題は、軸テープの自動カットが可能な装置の開発を目的とし、2種類のテープに対応し、テープの供給、カット、カットしたテープの保管等の基本的な機能を満たす装置の開発しました。



装置の外観

BEMAC株式会社

渡邊 剛さん (25)

四国職業能力開発大学校
応用課程

生産電気システム技術科

令和3年度 修了



私は四国能開大で学んだ知識をプログラミングに生かし、監視システムの設計開発を担当しています。新しい技術や知識を積極的に取り入れることで業務の効率化を図り、同僚とのコミュニケーションを深めることで部署内の連携を高めることに努めています。

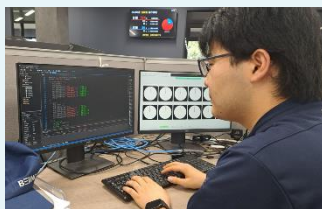
将来は、自分の専門性をさらに高めるとともに、産業プラント事業の成長にも貢献していきたいと考えています。

ワーキングタイムとアフターワーク

渡邊 剛さんのワーキングタイム

産業プラント事業に係る製品の設計業務を行うIP(Industrial Plant)設計部に所属しています。製品としては配電盤、制御盤、監視システムなどがありますが、この中で渡邊さんは監視システムを担当しています。

プログラミングを行う渡邊さん▶



渡邊 剛さんのアフターワーク

仕事だけでなくアフターワークでも充実した生活を送っています。自由参加の活動にも積極的に参加しており、上司も含め、同僚とのコミュニケーションを深めています。

活動例(自由参加): サイクリング、バレーボール、バドミントン、ソフトボール、ゴルフ等



BEMAC株式会社 (愛媛県今治市) 現在、四国能開大の修了生2名が活躍

かつての海上輸送に重要な役割を占めていた瀬戸内海。古くは水軍の時代から、この海には多くの船が行き交い、日々の営みを繰り返し、新しい文明を築き上げてきました。

BEMACは船舶の盤の設計・製造・施工すべてを一貫して約半世紀。海だけでなく陸へ宇宙へ、その技術を惜しみなく展開していきます。



海洋プラント事業



産業プラント事業



EV事業